

令和8年度 深堀中校区（深駒地区）ジョイントプラン

めざす「十五の春の姿」



自ら将来を切り拓く力を身に付けた生徒

深駒スタンダード

「時を守り 場を清め 礼を正す」

FK-JP(ジョイントプロジェクト)案

- ・「学びづくり」 授業参観・教務部調整
(行事予定)
- ・「心づくり」 体験授業・指導部交流
(規則等)
- ・「体づくり」 体力調査等の情報共有

コミュニティスクール



カウンスル

地域の教育資源開発

- ・外部人材の活用
- ・地域素材の活用
- ・小中ボランティア
連携

＜成熟期＞
将来を切り拓く

9

8

7

＜充実期＞
自分を見つめる

6

5

4

3

＜定着期＞
学び方の学び

2

1

＜基礎期＞
学ぶ楽しさ

深堀中

豊かな心を持ち、自ら考え、
判断し、行動できる生徒の育成

深堀小

すすんで考え工夫する子
思いやりの心で力を合わせる子
ねばり強くやりとげる子
明るくたくましい子

駒場小

かがやけ はばたけ こまばっ子
学びの、その先へ
めあてをもつ 考えをもつ
よさに気付く

小中一貫教育の目的

(1) 生きる力の育成

『確かな学力の定着・向上』『豊かな心を育む教育活動の充実』『体力の向上と心身の健康の保持増進』を柱に、義務教育9年間を通して、自らの将来を切り拓く力を育む。

(2) 小・中学校間の円滑な接続

ブロック全体で、心身の発達段階に応じた学習規律や生活習慣を確立し、小学生の中学校進学への不安を解消するとともに、いわゆる「中1ギャップ」をなくして円滑な中学校生活への移行を図る。

(3) 授業力の向上

小・中学校の教職員が相互に授業を参観し合い、互いの理解を深めながら授業の質を高める。

(4) 生徒指導・教育相談の充実

小・中学校が連携し、生徒指導上の課題を共通理解のもとに、家庭や地域と協働して一貫性と系統性のある指導を推進する。

(5) 地域の教育力の強化

小・中学校の縦のつながりを密にするとともに、学校・家庭・地域という統一感をもった横のつながりを強化し、地域とともにある学校づくりをすすめる。

取組内容（案）

(1) FK-JP(ジョイントプロジェクト)…小・中をつなぐ体系的な教育活動を構築するとともに、研修体制を構築する。

- (案) ・「学びづくり」 授業参観・教務部調整
・「心づくり」 体験授業・指導部交流
・「体づくり」 体力調査等の情報共有

お互いの都合を調整し、参観後に簡単な感想を記録する

(2) 小中互いの公開授業等の参観を通して、教師の授業力向上を図る。

- ・深堀中学校の地域公開など ・駒場、深堀小学校の参観日、地域公開日等

(3) 学校運営協議会や地域協働本部と連携し、各校の教育活動を一層活性化するとともに、地域や町会の行事・祭り・ボランティアなど、地域に根ざした異年齢交流の場への積極的な参加を促進する。

組織図

深堀中校区
深駒校長会
深駒教頭会



カウンスル

深駒小中一貫教育担当者会議

- ・「学びづくり」
・「心づくり」
・「体づくり」
- } 各担当による協議・運営
(教頭・教務・指導部 等)

